法文学部の特色

島根大学法文学部は、法経・社会文化・言語文化の3学科からなり、人文・社会科学の諸分野を網羅する山陰地方唯一の文科系総合学部です。本学部に所属する教員スタッフは、日本と世界の多様な地域と時代にまたがって、人間の営みとしての思想・文化・社会のあり方や課題を、それぞれの専門の立場から日々研究しています。また、研究・教育の両面にわたって国際的な交流にも積極的に取り組んでいます。

本学部が所在する山陰地方は、古代出雲に連なる豊かな歴史と伝統を受け継ぐ地域ですが、その一方では、広大な中山間地域を抱え、過疎化と少子高齢化に伴うさまざまな問題にも直面しています。本学部は、そのような地域社会の文化や課題に学問的に向き合う研究センターとしての役割も担っています。

本学部では、多様な専門を持つ教員が、それぞれの研究活動を基盤にして、個別指導によるきめ細やかな教育活動を展開しています。その目指すところは、一人一人の学生が、創造的で実践的な能力を備えて、現代社会のさまざまな場面で活躍できる人間として成長していくことに向けられています。そのために、各専門分野の系統的な学習を深めていくとともに、幅広い教養を身につけることのできる多彩なカリキュラムが用意されています。

■ここにしかない学び「地域の自然・文化環境と文化資源の活用を学ぶ」

自然・文化環境に対する学問的で多角的なまなざしと、地域の文化資源を活用する上での課題と方法を学びます。

科目区分		授業科目名	単位数
専門教育科目	演習科目	文化財保存活用演習	2
		地域資料総合演習	2
		日本古典籍基礎演習	2
		アメリカ文学応用演習Ⅰ	2
	講義科目	考古学概論Ⅰ	2
		現代史概説	2
		歴史地理学	2
		文化人類学入門	2
		アーカイブズ学概論	2
		社会調査Ⅰ	2
		地域経済各論	2
		経済統計処理論	2

私たちが暮らす地域には、豊かな自然環境と歴史に育まれた文化資源が存在しています。本プログラムでは、それらを活用する上での課題と方法を様々な学問分野の視点から多角的に学びます。具体的には、考古学、歴史学、日本文学、アメリカ文学、地理学、文化人類学、アーカイブズ学、社会学、経済学を専門とする担当教員から、学問的なまなざしや思考法を学び、そして文化資源の活用について取り扱う演習を通じて、地域課題に即した主体的で実践的な態度を身につけます。地域創生が叫ばれ、日本文化が国際的にも注目されるなか、豊かな自然環境と歴史資源の宝庫である島根県に位置し、法文学部という複合学部だからこそ学べるプログラムです。



